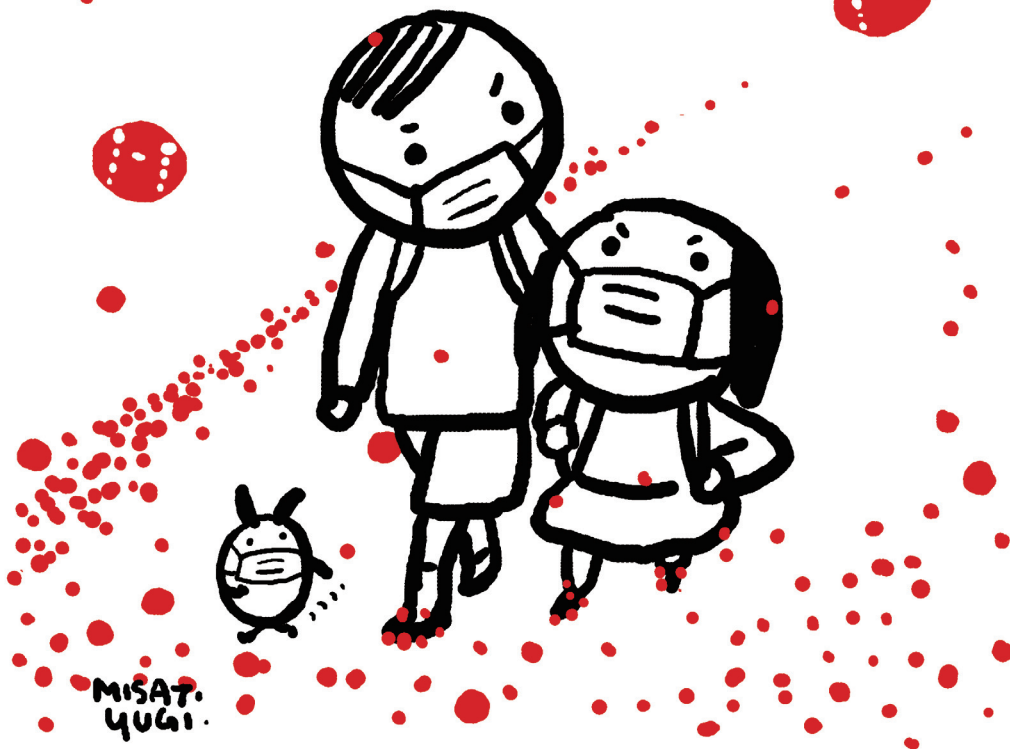


たのむぞ。 おとな。



たのむぞ、おとな。
というこどもたちのこころのこえ。
そのこえに、わたしたちは、こうこたえたい。
きこえるよ、こどもたち。
たのまれたよ、こどもたち。

9月15日(日) 14時30分～17時00分 文京シビックセンター 26階 スカイホール

「こどもたちの笑顔を未来に」

～福島県のこどもたちの現状を知る 放射線からこどもたちを守る～

参加費 1,000円 (こどもげんき特製ピンバッチ付き)

主催：株式会社 meme / こどもげんき実行委員会 協催：70億人の笑顔に向けて実行委員会

もう一步、わたしたちと一緒に、歩みを進めてみませんか。



被災地のことって最近ニュースも少なくなったよね？という疑問を持つ方へ情報があります。

3.11 東日本大震災から2年半を経過した今日、被災地の実情を伝える報道もずいぶんと少なくなってしまいました。でも、今も変わらず、むしろ今こそ深刻な状況が確かにあるのです。当イベントでは報道されなくなった被災地の実情、そこで暮らす被災者、特に子どもたちの実情を報告いたします。



何かしたいなと思っけていても、何をしたらいいのかわからないという皆さまへのヒントがあります。

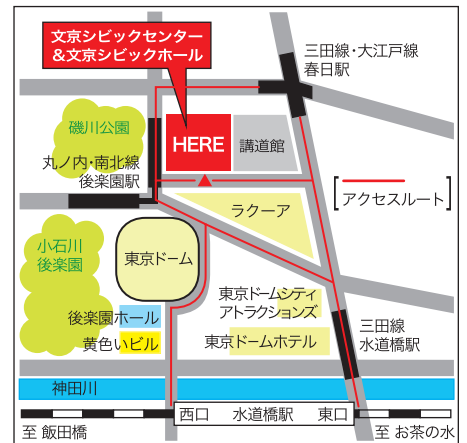
誰もが無理することなく手軽に取り組めることがあります。当イベントでは、様々なカタチで被災地支援に関わってきたメンバーや参加者が集います。世界70億人の人々が、みんな笑顔でつながり合えたらいいのになという人たちも集まります。



被災地の子どもたちに何かをしてあげたいと思っている皆さまへの提案があります。

そして、震災地の子どもたちだけではなく、日本中の子どもたちの未来を考えて行動をしましょう、という提案があります。まずは、震災地への支援として「こどもげんき」。そして、子どもたちと共に学ぶ「共育」をmemeが提案します。

- 企画 「こどもたちの笑顔を未来に」
～福島県の子どもたちの現状を知る 放射線から子どもたちを守る～
- 日時 2013年9月15日(日) 14時30分開場 15時00分開演～17時00分
☆希望者(先着40名様まで)を対象とした懇親会を別途予定しています。希望される方は事前お申し込みをお願いします。
- 費用 1,000円/参加費 (ピンバッチ付)
- 場所 文京シビックセンター 26階 スカイホール
- 定員 100名
- 対象 子どもたちの未来を考え、子どもたちを応援したいと思うおとなたち
☆小学生以下の入場は無料です。
- 目的 子どもたちを笑顔にするための情報共有と意見交換、そして、行動づくり
- 内容 「こどもげんき」プロジェクトのご紹介と福島県の子どもたちの現状報告



〒112-8555 東京都文京区春日1-16-21

最寄駅 東京メトロ丸の内線/南北線「後楽園」駅
都営地下鉄三田線/大江戸線「春日駅」駅
JR 総武線「水道橋」駅

【問い合わせ】

株式会社meme ホームページ「参加申し込みとお問い合わせ」フォームをご利用ください。〈御注意〉携帯メールをご利用の方は事務局からのメールが拒否される可能性がありますので、お手数でも meme メールアドレスに関して迷惑メール指定解除をお願いいたします。

※表面イラストレーション協力: 柚木ミサト 「あかいつぶつぶの絵」より

主催: 株式会社meme <http://meme-japan.jimdo.com/>

〒113-0033 東京都文京区本郷 3-11-9 ビクセル御茶の水 104 素音洞内

Tel: 03-3868-3790 e-mail: info_meme@gmail.com 統括マネージャー 植原紫貴 / meme 代表 郷右近丸彦

協催: 70億人の笑顔に向けて <https://www.facebook.com/pages/70億人の笑顔に向けて/160723620731256?fref=ts>

.....主催者紹介.....



郷右近丸彦 meme 代表

震災発生以降いち早く現地入りし支援活動を行う。福島県に移住してのイベント支援後、東京に戻りmeme設立。親子共育事業と共に新たな被災地支援活動をスタートさせる。JR東日本「銀河鉄道999」プロジェクト、鳥取県境港市「ゲゲゲの妖怪楽園」等を手がけるなど実績多数。



関智 meme プロデューサー

震災以前より原発を止める運動に関わる。震災以降は、子供たちはもちろん被災した動物達の救済活動を行うなど様々な活動から被災者支援復興支援活動に関わる。マーケティングとして、様々な業種の様々な企業活動に参画してきた企画立案とそのオペレーティングの専門家。



柳瀬幸多朗 こどもげんき代表

震災発生以前より多くの教育課題に空間デザイナーの立場から取り組む。震災以降は「みどりの東北元気キャンプ」を指導するなど被災した子供達のケアに力を尽くしている。「学校を子供達の居場所に」をテーマとする学校リニューアルプロジェクトを推進中。



植原紫貴 meme マネージャー

子供と親と共に成長していく「共育」理論の提唱者であり指導者。震災以降は、子供はもちろん、子供とどう向き合っていけばよいか悩む親の心のケアなどにも取り組んでいる。様々なカウンセリング手法を修得したBMEカウンセラーとしても活躍中。



早瀬和宏 meme 会長

「チェルノブイリ原発事故を契機に反原発活動を開始、原発勉強会「原発カフェ」共催、3.11後「被ばくから子どもをまもる国会分寺」を介し「TEAM 二本松」に無農薬野菜支援活動など幅広く被災者支援活動に取り組んでいる。大手企業のCI開発などに携わる一方、女子美術大学で永く教授として勤務。その経験を活かし「こどもげんき」「meme」のアートディレクターを務める。



神戸正博 「70億人の笑顔に向けて」主催者

「かんちゃん」の愛称で親しまれる「70億人の笑顔に向けて」の主催者。世界の人々が、争いごとがなくみんな笑顔でつながることを提唱。70億人の笑顔イベントをきっかけに、こどもげんき代表・柳瀬とmeme代表・郷右近が出会い、新しいムーブメントが発足したことから本活動に参加。宝地図ナビゲーター、笑顔MAXカリスマ喜講師として活躍中。